**資料　３**

まちづくりアンケート

集計結果報告書

【概要版】

平成31年３月

斑鳩町

まちづくりアンケート集計結果報告書【概要版】　目　次

Ⅰ　調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

１　調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

２　調査対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

３　調査期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

４　調査方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

５　回収状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

６　調査結果の表示方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

Ⅱ　アンケート調査結果の総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

Ⅲ　調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

１　回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

（１）性別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

（２）年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

（３）職業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

（４）通勤・通学地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

（５）居住期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

（６）居住地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

（７）世帯構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

（８）家族の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

（９）住居の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

２　斑鳩町の暮らしやすさなどについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

（１）住みごこち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

（２）今後の居住傾向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

（３）住み続けたい理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

（４）引越す・引越したい理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

３　日頃の意識や日常生活について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

４　現状と今後の取組みについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

ポートフォリオによる分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

５　斑鳩町の将来像について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

（１）将来像について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

６　地方創生の取組みについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

（１）人口減少・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

（２）出産・育児・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

（３）地域経済・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

７　都市計画等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

（１）斑鳩町のまちづくりについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

①住宅地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

②商業地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

③工業地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

④農地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

⑤道路・交通・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

⑥公園・緑地等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

⑦幹線道路沿道の土地利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

（２）法隆寺周辺やＪＲ法隆寺駅周辺地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２

８　自由意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

（参考）アンケート調査表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５

**Ⅰ　調査の概要**

**１　調査の目的**

斑鳩町では、町の将来を展望した都市計画の基本となる「都市計画マスタープラン」（計画期間：令和3年度～令和１2年度）の策定作業を進めています。都市計画マスタープランとは、本町の目指すべき将来像とその実現に必要な諸施策の方向性を定めるもので、町の都市計画の基本となる計画です。

前回策定から１０年近く経過し、その間の社会経済状況の変化を踏まえ、さらに時代に合った的確な対応が求められております。

同時期に策定する「第５次斑鳩町総合計画」、「奈良県都市計画区域マスタープラン」等関連する各種計画との整合性を図りつつ、これまでの１０年よりさらに厳しさを増す今後の１０年における本町のめざすべき方向とその実現のための施策をまとめ、町の都市計画に関する基本的な方針として、次期都市計画マスタープランを策定するため、アンケート調査を行いました。

この結果報告は、アンケート調査の結果をとりまとめたものです。

**２　調査対象**

町内にお住まいの18歳以上の方2,000名を無作為抽出

**３　調査期間**

平成30年12月４日から平成30年12月31日

**４　調査方法**

郵送による配布・回収

**５　回収状況**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 配布数 | 有効回答数 | 有効回答率 |
| 2,000通 | 813通 | 40.7％ |

**６　その他**

「平成27年度調査」と記載しているものについては、「第４次斑鳩町総合計画・後期基本計画」策定の基礎資料として実施したアンケート調査を表しています。

**Ⅱ　アンケート調査結果の総括**

◇斑鳩町の暮らしやすさの評価は高く、定住意向も強い

町への住みやすさの評価は、「住みよい」と「どちらかというと住みよい」をあわせた“住みよい”の割合が84.0％と、平成27年度調査よりやや改善し、大半の住民が“住みよい”という評価しています。

また、「これからも斑鳩町に住み続けたい」の割合が78.6％と、平成27年度調査より増加しており、定住意向が高まっていることがうかがえます。

住民の多くは、斑鳩町は住みやすく今後もこの町に住み続けたいという考えを持っており、平成27年度調査よりさらに高まっています。

一方で、約２割の方は今後の定住意向については「引越したい」「わからない」という回答があり、また、引越す・引越したい理由は買物など日常生活が不便であるという回答が多く、より定住性を高めるためには、生活の利便性を向上させていくことが課題となります。

◇日頃の意識や日常生活については、災害に関する取組みなどにおいて見直しも必要

生活全般をとおしてみると、「防災訓練などへの参加」、「近所の公園の利用」、「他の世代や外国人との交流やふれあい」といったものは、住民の利用・取組みが低く、生活の中で十分に機能していない面が見られます。

特に、「家具の固定や非常食の備蓄などの災害への備え」は平成27年度調査より改善しており、住民の災害に関する意識が高まっていることがうかがえる反面、「防災訓練などへの参加」が減少していることから、参加しやすいあり方を検討するなど、防災意識の高まりが具体的な行動につながるよう支援していくことが必要です。

また、「近所の公園の利用」、「他の世代や外国人との交流やふれあい」といった項目については、既存施設・事業があるものの、利用・取組みが低いことから、住民目線からの利用のしやすさや、公的支援のあり方などの見直しの検討が必要になります。

◇斑鳩町の取組みについては、「道路・交通網」施策が最も優先度の高い施策

現在町が取り組んでいる各種施策についての、住民の現在の満足度の評価結果について、満足度が高いのは、「健康づくり」「ごみ・し尿」「子育て支援」「生涯学習・生涯スポーツ」「人権・平和・男女共同参画」等にかかわる項目となっています。

一方、満足度が低いのは、「道路・交通網」「住宅・生活環境」「商工業・観光」「防犯・消費生活」「防災」等にかかわる項目となっています。

今後の重要度についての評価結果については、重要度が高い項目は、「地域医療体制」「災害に強いまちづくり」「消防・救急体制」等の安心・安全にかかわる項目と「ごみの減量化、リサイクル活動」「海や山などの自然環境の保護」等の環境にかかわる項目です。

一方、重要度が低い項目は、「国際化、外国人との交流・共生」「コミュニティ活動の支援」「ボランティア育成や住民活動支援」等の地域活動にかかわる項目、「文化活動、文化の継承」など文化にかかわる項目となっています。

特に問題となる「重要度は高いが満足度が低い」施策については、「道路・交通網」「住宅・生活環境」「防災」「商工業・観光」「防犯・消費生活」が上位となっており、「道路・交通網」施策が最も優先度の高い施策となります。

「道路・交通網」施策では、生活道路の整備や歩道・交通安全施設の整備が求められています。

◇町の将来像については、犯罪や災害などに対する安全・安心の強化とともに、保健・福祉の充実が求められている

住民が望む町の将来像は、「災害に強く犯罪が少ない、安全で安心して暮らせるまち」が最も高く、次いで「高齢者や障害のある人、子どもなどを大切にする保健・福祉が充実したまち」「道路や公共交通、都市施設の整備が進んだ、機能的で利便性の高いまち」となっています。防災面では、特に河川改修などの浸水対策が求められています。

平成27年度調査より「災害に強く犯罪が少ない、安全で安心して暮らせるまち」「高齢者や障害のある人、子どもなどを大切にする保健・福祉が充実したまち」を望む声が高くなっており、防犯・防災面と福祉の面で安全・安心に暮らせるまちが一層求められています。

◇人口減少の克服に向けた取組みとして、子育て世代への支援、特に子どもを預ける場の充実が求められている

人口減少の克服に向けて力を入れるべきことについては「子育て支援やワーク・ライフ・バランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組み」の項目が最も高く、子育て世代への支援が重要であると考えていることがうかがえます。

また、出産・育児に関するサービスで力を入れるべきことでは、「幼稚園・保育所・認定こども園などの施設の拡充」「緊急・一時的な子どもの預かりサービスの充実」「子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上」などの割合が高く、全国的に共働き世帯が増えている中、子どもを預ける場の質・量両面からの充実が求められています。

地域経済の活性化のため力を入れるべきことでは、「歴史文化遺産、自然など本町の特色を活かした観光産業の振興」が他の項目に比べ突出して高く、町の特色である歴史文化遺産を活かした観光産業を更に振興していくことが求められています。また、そのためには、来訪客をもてなす受け入れ体制づくりなど、観光産業を支える住民の参画も併せて必要になってきます。

◇まちづくりにおいて歩行環境の充実や公園、商業系施設の整備など生活の安全や利便性の向上につながる取り組みが求められている

都市計画等の今後の取組みについて、いずれの項目でも「現在のままでよい」とする回答は少なく、まちづくりにおいて何らかの改善が求められています。特に、道路・交通における「生活道路の整備」「歩道や交通安全施設（照明、ミラーなど）の整備」、公園・緑地等における「公園や子どもの遊び場の整備」、幹線道路沿道の土地利用における「商業系施設などの誘致」において割合が高くなっており、生活の安全や利便性の向上につながる取組みが求められています。

法隆寺周辺やＪＲ法隆寺駅周辺地区のまちづくりについては、「幹線道路からＪＲ法隆寺駅までのアクセスの強化」や「ＪＲ法隆寺駅から法隆寺までの歩行者ルートの設定、案内看板の設置」などの割合が高く、交通アクセスの強化や歩行環境の充実が求められています。

**Ⅲ　調査結果**

**１　回答者の属性**

（１）性別

「男性」の割合が42.9％、「女性」の割合が55.8％とやや女性が多い。



（２）年齢

「70歳以上」の割合が36.8％と最も高く、次いで「60代」の割合が17.5％となっている。





（３）職業

「無職」の割合が34.9％と最も高く、次いで「会社員」の割合が20.9％、「家事従事者」の割合が14.3％となっている。



（４）通勤・通学地

「通勤・通学している（斑鳩町+奈良県内+奈良県外）」は49.7％で約半数を占め、「通勤・通学していない」の割合が38.5％となっている。





（５）居住期間

「３０年以上」の割合が55.2％と最も高い。





（６）居住地区

「Ｃ地区」の割合が46.6％と最も高く、次いで「Ａ地区」の割合が39.9％、「Ｂ地区」の割合が12.3％となっている。





|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 地区 | 地域 | 人口構成 |
| Ａ地区 | 龍田北、龍田、龍田西、龍田南３～６丁目、小吉田１丁目、稲葉車瀬、稲葉西、神南 | 40.0％ |
| Ｂ地区 | 法隆寺西、法隆寺、法隆寺山内、法隆寺北、法隆寺東、幸前1丁目、大字三井、大字岡本、大字法隆寺 | 12.8％ |
| Ｃ地区 | 龍田南１～２丁目、小吉田２丁目、五百井、服部、法隆寺南、東福寺、興留、興留東、阿波、高安西、高安、大字高安、幸前２丁目、目安、目安北、大字目安 | 47.2％ |

（７）世帯構成

「親と子（２世代）世帯」の割合が42.9％と最も高く、次いで「夫婦世帯」の割合が38.7％となっている。



（８）家族の状況

「６５歳以上の方」の割合が49.2％と最も高い。また、「介護を要する方」の割合が6.3％と最も低い。



（９）住居の状況

「持ち家（一戸建）」の割合が84.3％と最も高い。



**２　斑鳩町の暮らしやすさなどについて**

（１）住みごこち

「どちらかというと住みよい」の割合が46.0％と最も高く、次いで「住みよい」の割合が38.0％となっている。

「住みよい」「どちらかというと住みよい」を合わせると、84.0％となり、平成27年度調査より、やや改善している。





（２）今後の居住傾向

「これからも斑鳩町に住み続けたい」の割合が78.6％と最も高く、平成27年度調査と比較すると、「これからも斑鳩町に住み続けたい」の割合が増加している。





（３）住み続けたい理由

「これからも住み続けたい」とする方に斑鳩町で暮らしたいと思う理由を複数回答で尋ねたところ、「自然環境が良い」の割合が65.9％と最も高く、次いで「住みなれていて愛着がある」の割合が64.8％、「歴史・文化が豊かで個性がある」の割合が55.9％となっている。

（４）引越す・引越したい理由

「引越す予定がある」、「引越したい」とする方に引っ越す理由を複数回答で尋ねたところ、「買物など日常生活が不便」の割合が44.3％と最も高く、次いで「まちの魅力に乏しく、個性がない」の割合が30.4％、「医療施設が充実していない」、「通勤・通学など交通の便が良くない」の割合が29.1％となっている。



**３　日頃の意識や日常生活について**

各項目で「あてはまる」、「ややあてはまる」、「ややあてはまらない」、「あてはまらない」の四者択一方式尋ねたところ、以下のとおりとなっている。

「あてはまる」と「ややあてはまる」をあわせた“あてはまる”の割合が高いもの。

１．「ゴミの分別をきちんとしている」

２．「省エネルギーや省資源を心がけている」

３．「斑鳩町に愛着がある」

４．「斑鳩町に魅力や誇りを感じる」

５．「町広報紙「斑鳩－いかるが」や町の配布チラシをよく見る」

「あてはまらない」と「ややあてはまらない」をあわせた“あてはまらない”の割合が高いもの。

１．「近所の公園を利用している」

２．「他の世代の人や外国人と交流したり、ふれあうことがある」

３．「防災訓練などに積極的に参加、見学している」

４．「町が主催するイベントに積極的に参加している」

５．「日常生活の中で、ＳＮＳ（ｔｗｉｔｔｅｒ・Ｆａｃｅｂｏｏｋ・Ｉｎｓｔａｇｒａｍなど）を利用している」





**４　現状と今後の取組みについて**

斑鳩町で現在取り組んでいる施策について、現在の「満足度」と、ますます厳しくなる財政状況の中で、今後の取り組みとしての「重要度」を尋ねたところ、分野別の各項目を合算した現在の満足度および今後の重要度は以下の通りとなっている。

現在の満足度　　　　　　　　　　　　　　　　　　今後の重要度



＜ポートフォリオによる分析＞

斑鳩町の施策に関する各項目の満足度および重要度について、下記の方法により５段階の得点をつけ、平均得点を算出した。この評点を指標として、満足度と重要度の分析を行った。なお、平均得点は、＋３に近いほど満足度または重要度が高いことを示し、逆に－３に近いほど満足度が低い（不満度が高い）、または重要度が低いことを示している。

【満足度・重要度の平均得点の算出方法】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 現在の満足度 | 今後の重要度 | 得点（評点） |
| 満足 | 高い | ＋３点 |
| やや満足 | やや高い | ＋２点 |
| ふつう | ふつう | １点 |
| やや不満 | やや低い | －２点 |
| 不満 | 低い | －３点 |
| 無回答 | 無回答 | 除外 |

■施策に対する満足度と重要度の評価

斑鳩町の施策に対する住民の満足度の平均得点を横軸、重要度の平均得点を縦軸として散布図を作成し、施策の優先度をしめしている。

満足度と重要度の評価（施策の優先度）　トップ10

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | 施策項目 | 優先度※ | 満足度 | 重要度 |
| １ | 道路・交通網 | 2.04 | -0.27 | 1.76 |
| ２ | 住宅・生活環境 | 1.78 | -0.02 | 1.76 |
| ３ | 防災 | 1.77 | 0.27 | 2.05 |
| ４ | 商工業・観光 | 1.55 | 0.11 | 1.67 |
| ５ | 防犯・消費生活 | 1.38 | 0.25 | 1.63 |
| ６ | 上下水道 | 1.20 | 0.67 | 1.87 |
| ７ | 風景・景観 | 1.13 | 0.69 | 1.82 |
| ８ | 学校教育 | 1.06 | 0.71 | 1.77 |
| ９ | 環境保全 | 0.99 | 0.67 | 1.66 |
| 10 | 高齢者福祉 | 0.97 | 0.82 | 1.80 |

※優先度＝重要度の得点から満足度の得点を引いたもの



Ｃ

Ｄ

Ｂ

Ａ

重要度が  
高い

重要度

重要度が  
低い

満足度

満足度が  
低い

満足度が  
高い

**Ａ：重点改善施策項目　満足度が低く、重要度が高い**

最優先で改善が求められている。

**Ｂ：重点維持施策項目　満足度が高く、重要度も高い**

おおむね満足が得られているが、引き続き維持していくことが求められている。

**Ｃ：ウォッチング施策項目　満足度が低く、重要度も低い**

推移を注目していくことが求められている。喫緊性は高くないものの、生活の質を高めるなどのために、満足度を上げていくことが求められているもの。

**Ｄ：維持施策項目　満足度が高く、重要度は低い**

このままの状態を保つことが求められている。

**５　斑鳩町の将来像について**

（１）将来像について

将来の斑鳩町がどのような「まち」であってほしいと思うか尋ねたところ（３つまでの複数回答）、「災害に強く犯罪が少ない、安全で安心して暮らせるまち」の割合が72.1％と最も高く、次いで「高齢者や障害のある人、子どもなどを大切にする保健・福祉が充実したまち」の割合が52.2％、「道路や公共交通、都市施設の整備が進んだ、機能的で利便性の高いまち」の割合が38.3％となった。

平成27年度調査と比較すると、「災害に強く犯罪が少ない、安全で安心して暮らせるまち」「高齢者や障害のある人、子どもなどを大切にする保健・福祉が充実したまち」「緑や水辺が豊かで身近なところで自然とふれあうことができるまち」「道路や公共交通、都市施設の整備が進んだ、機能的で利便性の高いまち」などの割合が増加している。





**６　地方創生の取組みについて**

（１）人口減少

人口減少を克服し活力ある社会をめざして、どのようなことに特に力を入れるべきか尋ねたところ（３つまでの複数回答）、「子育て支援やワーク・ライフ・バランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組み」の割合が60.5％と最も高く、次いで「観光資源や自然環境といった地域資源の活用や人や物の交流を拡大し、地域の活性化やにぎわいを創出する取組み」の割合が43.9％、「健康づくりや福祉の充実など、人口減少社会でも安心して暮らせる地域をめざす取組み」の割合が42.8％となっている。



（２）出産・育児

出産・育児に関するサービスとして、どのようなことに力を入れるべきか尋ねたところ（３つまでの複数回答）、特に偏ったものではなく、さまざまな対策が求められているが、「幼稚園・保育所・認定こども園などの施設の拡充」の割合が41.3％と最も高くなっている。

（３）地域経済

地域経済の活性化を図るために、どのようなことに力を入れるべきか尋ねたところ（３つまでの複数回答）、「歴史文化遺産、自然など本町の特色を活かした観光産業の振興」の割合が61.9％と最も高く、次いで「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」の割合が39.4％、「学校、企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成」の割合が25.8％となっている。



**７　都市計画等について**

（１）斑鳩町のまちづくりについて

今後の取組みについて、重要だと思うことを各分野で尋ねたところ（３つまでの複数回答）、以下のとおりとなった。

①住宅地

「景観に配慮した住宅地の形成」の割合が39.5％と最も高く、次いで「密集住宅地の解消、災害に強いまちづくり」の割合が39.4％、「既存住宅地の居住環境の向上」の割合が37.8％となっている。

②商業地

「地域に密着した商店の育成、地元店舗の共同化、活性化」の割合が46.5％と最も高く、次いで「幹線道路沿道における沿道サービス系商業施設の誘致」の割合が39.7％、「中心商業地の活性化」の割合が36.8％となっている。

③工業地

「緑化の推進など周辺環境との調和」の割合が45.8％と最も高く、次いで「既存工業の活性化」の割合が26.1％、「住宅と工場の混在の解消」の割合が24.7％となっている。

④農地

「農地の積極的な保全」の割合が36.8％と最も高く、次いで「農業基盤の整備」の割合が36.0％、「立地条件に合わせ住宅地や工業地・商業地等に転用」の割合が26.3％となっている。

⑤道路・交通

「生活道路の整備」の割合が53.3％と最も高く、次いで「歩道や交通安全施設（照明、ミラーなど）の整備」の割合が50.9％、「幹線道路の整備」の割合が32.7％となっている。

⑥公園・緑地等

「公園や子どもの遊び場の整備」の割合が55.7％と最も高く、次いで「避難場所となる防災公園の整備」の割合が49.0％、「自然環境の保全」の割合が48.5％となっている。

⑦幹線道路沿道の土地利用

「商業系施設などの誘致」の割合が52.3％と最も高く、次いで「現在のままでよい」の割合が19.9％、「開発の抑制」の割合が17.2％となっている。

（２）法隆寺周辺やＪＲ法隆寺駅周辺地区

法隆寺周辺やＪＲ法隆寺駅周辺地区のまちづくりについて、どのようなことに力を入れるべきか尋ねたところ（３つまでの複数回答）、「幹線道路からＪＲ法隆寺駅までのアクセスの強化」の割合が26.7％と最も高く、次いで「ＪＲ法隆寺駅から法隆寺までの歩行者ルートの設定、案内看板の設置」の割合が25.2％、「法隆寺周辺の電柱、電線類の景観改善や道路美装化」の割合が23.2％となっている。



**８　自由意見**

270人（33.2％）から意見があった。意見の分類と、その主な内容は以下のとおり。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | | 件数 |
| まちの整備について | | 92 |
|  | 幹線道路の整備 | 27 |
|  | 生活基盤の整備や快適なまちづくり | 21 |
|  | 生活道路の整備 | 17 |
|  | 歩道の確保や段差の解消 | 9 |
|  | 防犯対策の充実 | 6 |
|  | 河川改修などの浸水対策 | 3 |
|  | 住宅地・市街地の環境整備 | 2 |
|  | 施設整備の充実 | 2 |
|  | 耐震補強などの地震対策 | 1 |
|  | 避難場所、ルートの確保 | 1 |
|  | 水辺の保全や環境づくり | 1 |
|  | 水源確保と水道施設の整備 | 1 |
|  | 浸水対策の推進 | 1 |
| 産業について | | 82 |
|  | 斑鳩の里の風景・景観の保全 | 19 |
|  | 個性的で活力ある地元商業の確立 | 17 |
|  | 商業施設の立地誘導 | 14 |
|  | 法隆寺周辺などの拠点機能の強化 | 12 |
|  | 市街地の景観づくり | 11 |
|  | 歴史文化資源の活用 | 2 |
|  | 環境保全対策の充実 | 2 |
|  | 地元農業への意識向上 | 1 |
|  | まちづくりと農業の連携 | 1 |
|  | 自然環境や工業環境の整備 | 1 |
|  | 斑鳩町内での滞在時間の拡大 | 1 |
|  | 地域ぐるみでの花と緑のまちづくり | 1 |
| 公共施設について | | 27 |
|  | 遊び場や公園の充実 | 14 |
|  | コミュニティバスの運行 | 13 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | | | 件数 |
| 高齢者福祉について | | | 11 |
|  | | 生きがいづくり、介護予防事業の充実 | 4 |
|  | | 高齢者の社会参加の促進・支援 | 4 |
|  | | 福祉活動の推進 | 2 |
|  | | 介護サービスの充実 | 1 |
| 子どもについて | | | 9 |
|  | 子育てに関する支援の充実 | | 7 |
|  | 学童保育の充実 | | 1 |
|  | 子どもの医療費助成、医療の充実 | | 1 |
| 行政について | | | 7 |
|  | 広域行政の推進 | | 3 |
|  | 住民と行政の協働によるまちづくり | | 2 |
|  | 安定した財政基盤の行財政運営 | | 2 |
| その他 | | | 42 |
|  | アンケートについて | | 13 |
|  | 自治会について | | 4 |
|  | ごみ収集について | | 2 |
|  | その他 | | 23 |
| 合計 | | | 270 |

まちづくりアンケート自由意見（概要・抜粋）

**【幹線道路、生活道路】**

■いかるがパークウェイの早期実現

■幹線道路・生活道路の修繕、整備

■歩行者、自転車の安全確保を重視した生活道路の整備

■国道25号の歩道整備

**【法隆寺駅から法隆寺までの環境整備】**

■法隆寺駅から法隆寺までの道路・歩道整備

■法隆寺駅から法隆寺までの道路周辺の商業施設誘致

■法隆寺駅から法隆寺までの案内の強化

■法隆寺の松並木を延長し、法隆寺駅につなげる

**【法隆寺駅周辺】**

■法隆寺駅周辺のカフェや飲食店、スーパーなどの商業施設の誘致

■医療機関の誘致

■法隆寺駅までの交通アクセス強化

■古都の雰囲気のある法隆寺駅

■法隆寺駅前の再開発、区画整理

■王寺駅や三郷駅など近隣と比較した駅前開発の遅れに対する用途地域の見直し

■法隆寺駅北口の道路拡幅、住宅施設の充実

■法隆寺の玄関口として整備

**【法隆寺周辺】**

■法隆寺周辺のカフェや飲食店、物品販売店などの商業施設の誘致

■法隆寺周辺の景観、道路整備

■法隆寺を中心とした観光振興

**【防災関連】**

■河川改修の早期実現

■避難場所や施設、ルートなど大規模災害に対する対策の見直し

■空家の増加による防犯への不安

**【その他】**

■竜田川や三室山の景観保全

■医療機関の誘致

■電柱の地下化

■観光客・リピーターを増やす、歴史・観光まちづくり

■公園整備（大型公園を含む）

■無秩序な小規模開発の抑制

■農地など自然の確保、歴史的風景の保持

■公共下水道の早期整備

■工業化、商業化は望まない

■子育てしやすい環境整備

■宿泊施設の誘致

■道の駅の整備